

第113回南あわじ市議会定例会議事日程（第1号）

令和4年8月29日（月）午前10時開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 諸般の報告
- 第4 行政報告
- 第5 委員会調査報告
- 第6 議案第55号、議案第56号（2件一括上程）
議案第55号 南あわじ市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第56号 南あわじ市職員の互助共済制度に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第7 議案第57号 南あわじ市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 第8 議案第53号 令和4年度南あわじ市一般会計補正予算（第4号）
- 第9 議案第54号 令和4年度南あわじ市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 第10 議案第58号 淡路広域行政事務組合理約の変更について
- 第11 議案第59号、議案第60号（2件一括上程）
議案第59号 衛生センター解体工事請負変更契約の締結について
議案第60号 （普）堀岸川護岸整備工事（第2期）請負変更契約の締結について

第12 認定第1号～認定第12号（12件一括上程）

- 認定第1号 令和3年度南あわじ市一般会計決算の認定について
- 認定第2号 令和3年度南あわじ市国民健康保険特別会計決算の認定について
- 認定第3号 令和3年度南あわじ市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- 認定第4号 令和3年度南あわじ市介護保険特別会計決算の認定について
- 認定第5号 令和3年度南あわじ市土地開発事業特別会計決算の認定について
- 認定第6号 令和3年度南あわじ市産業廃棄物最終処分事業特別会計決算の認定について
- 認定第7号 令和3年度南あわじ市国民宿舎事業特別会計決算の認定について
- 認定第8号 令和3年度南あわじ市広田財産区特別会計決算の認定について
- 認定第9号 令和3年度南あわじ市福良財産区特別会計決算の認定について
- 認定第10号 令和3年度南あわじ市北阿万財産区特別会計決算の認定について
- 認定第11号 令和3年度南あわじ市沼島財産区特別会計決算の認定について
- 認定第12号 令和3年度南あわじ市下水道事業会計決算の認定について

第13 請願第1号 日本国政府に核兵器禁止条約への署名、批准を求める請願

議 長 報 告

令和4年8月29日 定例会

第112回臨時会を令和4年8月23日に閉会しましたが、その後の議会及び議長の活動状況について次のとおり報告いたします。

(令和4年度)

8月	23日	産業厚生常任委員会	委員会室
	24日	淡路広域団体議会定例会	淡路広域消防事務組合消防本部議場
	26日	議会広報広聴常任委員会視察研修（議長、議会広報広聴常任委員出席）	議員協議会室

地方自治法第121条の規定により説明のため出席する者の職氏名

令和4年8月29日

市 長	守 本 憲 弘
副 市 長	馬 部 総 一 郎
教 育 長	浅 井 伸 行
総 務 企 画 部 長 兼 総 務 課 秘 書 室 長	木 田 博 仁
総 務 企 画 部 付 部 長 (企 画 担 当) 兼 市 長 特 別 補 佐 (子 育 て の 喜 び が 見 える ま ち づ くり 推 進 調 整 担 当)	勝 見 哲
危 機 管 理 部 長 兼 市 長 特 別 補 佐 (団 体 と の 連 携 推 進 担 当)	喜 田 憲 和
市 民 福 祉 部 長 (総 合 調 整 担 当)	西 庄 登
市 民 福 祉 部 付 部 長 (福 祉 ・ 総 合 的 福 祉 研 究 プ ロ ジ ェ ク ト 担 当)	齋 藤 浩 二
産 業 建 設 部 長 (農 林 ・ 農 地 ・ 総 合 調 整 担 当)	和 田 昌 治
産 業 建 設 部 付 部 長 (商 工 観 光 ・ 水 産 ・ 教 育 連 携 担 当) 兼 市 長 特 別 補 佐	川 上 洋 介
産 業 建 設 部 付 部 長 (建 設 ・ 下 水 道 ・ 建 築 技 術 担 当)	首 藤 健 一
教 育 委 員 会 教 育 次 長 (学 ぶ 楽 し さ 日 本 一 推 進 調 整 担 当)	仲 山 和 史
市 民 福 祉 部 副 部 長 (環 境 施 設 整 備 推 進 担 当)	廣 内 繁 一
市 民 福 祉 部 副 部 長 (新 型 コ ロ ナ ウ ク チ ン 接 種 ・ 健 康 担 当) 兼 健 康 課 長	赤 松 裕 子
会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	森 山 雅 生
教 育 委 員 会 教 育 次 長 補 兼 学 校 教 育 課 長 (学 校 教 育 指 導 主 事)	上 原 泉

令和4年8月29日

南あわじ市議会
議長 谷口博文様

総務文教常任委員会
委員長 廣内孝次



委員会調査報告書

第106回南あわじ市議会臨時会において総務文教常任委員の選任が行われて以後、開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第108条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

調 査 概 要

1 調査事件

- (1) 市の総合的企画、調整について
- (2) 行財政計画について
- (3) 市有財産の維持管理と財源の確保について
- (4) 情報化の推進について
- (5) 離島振興対策について
- (6) 国際交流及び友好市町の調査について
- (7) 人権施策について
- (8) 消防・防災対策の推進について
- (9) 教育の充実、文化・スポーツの振興と関係施設の整備について
- (10) 青少年の健全育成について
- (11) 選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会に関すること

2 調査の経過

令和3年11月22日、第106回南あわじ市議会臨時会において総務文教常任委員の選任が行われ、以後、8回にわたり委員会を開催し、所管事務調査を行った。

所管事務調査については、新型コロナウイルス感染防止対策として、机上にパーティションを設置などし、感染防止に努めた。また、「より深い議論」を目的として、引き続き、質問の事前通告制を取り入れ議論を深めた。

(1) 所管事務調査のため開催した委員会

令和3年12月16日、令和4年1月27日、2月16日、4月20日、5月16日、6月17日、7月8日、8月18日

3 調査の結果

(1) 市の総合的企画、調整について

移住・定住対策について、いろいろな着眼点があると思うが、子供を育てている世代が移住・定住を進めていく場合、働く場所の確保が必要である。働く場所については、農業などの第一次産業と水平展開していくことが、働く場所を広く選択できると考えるのでその辺も含めて検討していただきたいとの意見がありました。

市民交流センターについて、どの地域においても過疎、人口減少の問題、それに伴う地域の日常生活上の様々な不便さに対して、市民が力を合わせてこれを乗り越えていく、それをうまく解決していくことを目標に置くと、市民交流センターの活動のターゲットが非常に明確になる。そういう角度から積極的に取り上げていかれたいとの意見がありました。

(2) 市有財産の維持管理と財源の確保について

旧丸山小学校跡地施設利活用事業について、事業者と平成28年4月から30年間、土地の無償使用貸借契約を締結し、当初は、雇用があり建物も建てる計画でスタートしたが、令和4年3月末をもって契約を解除し事業を撤退した。このようなことがあると、地域の方も物すごく慎重になると思うので、地域づくり協議会などの意見をよく聞き、相談し、十分に気をつけ進めていただきたいとの意見がありました。

(3) 情報化の推進について

デジタル利用促進について、デジタル地域振興券などは、市民に消費喚起をしている事業であるが、市民で使えない方がかなりいるため、市民全体に行き渡ってない。デジタル利用促進事業も非常に大事であるが、デジタルを使えない方々へ給付金が行き渡るような事業も考えていっていただきたいとの意見がありました。

(4) 国際交流及び友好市町の調査について

国際姉妹都市のアメリカ合衆国オハイオ州セライナ市と、毎年、相互に学生の派遣・受入を行い交流を図っていたが、ここ数年はコロナ禍の影響で実施できていない。感受性の豊かな学生時代に世界を見ることは非常に良いことで、過去の派遣をした学生を見ると、派遣前と派遣後ではすごく成長をしたことを感じた。セライナ市も交流に関して意欲を持っているので、市国際交流協会と速やかに協議をし実現するようにお願いしたいとの意見がありました。

(5) 消防・防災対策の推進について

個別避難計画について、市民の理解を前提に危機管理部や市民福祉部などが力を合わせ、災害時の避難誘導、要援護者などの洗い出しをし、家族などのサポートのある方、ない方、家族の状況などを把握しておくことが大事である。大変な作業になると思うが、本人の身体状況、家族構成などの条件の変化をリアルにつかんでおくことを目標に置き、取り組んでいただきたいとの意見がありました。

市消防団について、団員に消防団の実態をアンケートした結果、実際に活動している団員が6割以上いる分団が約40%で、消防団行事に負担を感じている団員が多く、新入団員の確保が困難である結果が出た。団員報酬、手当については、消防庁が示しているものと差額がかなりあり、また、常時活動をしている団員と全く活動していない団員で手当等あまり差がない状況については、今後実態を踏まえて検討していただきたい。また、団員定数については、機能別分団や効率化、ICT化などいろいろな方法があるので、定数を何とか維持するのではなく、人口減少も踏まえ、検討してい

ただきたい。今後発生する可能性が高い南海トラフ巨大地震、台風、火事などの災害に対応できるように、しっかりした消防組織の体制を整備していただきたいとの意見がありました。

(6) 教育の充実、文化・スポーツの振興と関係施設の整備について

タブレットについて、使用ルールについては、子供たち自身がルールを決めているが、毎年、子供たちでルールを見直し自分たちで決めたルールだと思えるような環境づくりをしていただきたい。また、アプリの導入については、現場で必要なものは積極的に導入していただきたいとの意見がありました。

学校施設の再編について、学校施設の再編、統廃合については、今後の児童生徒数の推移、地元と十分に話し合い、納得した中で進めてほしいとの意見がありました。

学校でのプール指導について、市内には、用水路やため池が多く、一定の水泳の技術などを身につけておくのは、生涯にわたって役に立つ場面は多いので、中学校での水泳指導を幅広くできるようにし、基本的な泳法を身につけることは非常に意味がある。プールを造るのであれば大変なお金がかかるが、市内の既存の施設を利用するのであれば、いろんな意味でメリットも出てくる。水泳は、子供たちの心身の発達においても非常に意味があるので、夏の体育の一環として、既存施設の利用、有効活用を十分に検討し実施していただきたいとの意見がありました。

学校給食について、食材が高騰しているが材料を落とすのではなく、市には全国に誇れるぐらいの豊かな食材があるので、保護者の負担は現状のままで、市内の特産品を食べられるような学校給食に取り組んでいただきたいとの意見がありました。

榎列小学校の大規模改修について、学校から地区に、夏休みの間に大規模工事をする予定であるが、その期間は運動場と体育館が使用できないと話があった。地域の方や少年少女スポーツクラブの団体など、運動場や体育館を使用しており、また、他の学校の大規模改修では全面的に使用できない形態はとっていないので、業者と十分協議し対応をしていただきたいとの意見がありました。

ヤングケアラーについて、子供たちは家族の世話をするのは当然と思う子供が多く、ヤングケアラーであることをなかなか自覚できない。子供たちと一番接している学校現場が中心になり早期に発見し、子供たちの学習権の保障を責任を持って取り組んでほしい。また、政策的な対策は福祉部局で考えるなど、連携をとり役割分担をして組織的に取り組んでいただきたいとの意見がありました。

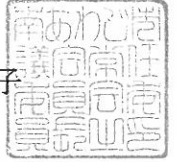
(7) 選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会に関すること

選挙について、現在の期日前投票では、入場券を持ってない場合、住所、氏名、生年月日を記載し名簿照合係で年格好等を確認しているが、その確認だけであると不安を感じる。なりすまし投票、不正投票防止などについてもしっかりPRをし、執行していただきたいとの意見がありました。

令和4年8月29日

南あわじ市議会
議長 谷口博文様

産業厚生常任委員会
委員長 北条志津子



委員会調査報告書

第106回南あわじ市議会臨時会において産業厚生常任委員の選任が行われて以後、開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第108条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

調 査 概 要

1 調査事件

- (1) 税の賦課徴収について
- (2) 生活環境の整備推進について
- (3) 福祉対策について
- (4) 介護保険と高齢化社会対策について
- (5) 医療体制と健康づくりの推進について
- (6) 商工業及び観光の振興について
- (7) 農業振興の推進について
- (8) 水産振興の推進について
- (9) 都市整備事業の推進について
- (10) 下水道事業の推進について
- (11) 農業委員会に関すること

2 調査の経過

令和3年11月22日、第106回南あわじ市議会臨時会において産業厚生常任委員の選任が行われ、以後、8回にわたり委員会を開催し、所管事務調査を行った。

所管事務調査については、新型コロナウイルス感染防止対策として、机上にパーティションを設置など、感染防止に努めた。

また、調査事項について現状を把握するため、先進的な取組を行っている自治体への管外調査を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期した。

(1) 所管事務調査のため開催した委員会

令和3年12月17日、令和4年1月31日、3月24日、4月26日、5月24日、6月20日、7月25日、8月23日

3 調査の結果

(1) 税の賦課徴収について

生活費の値上がりが続く苦しい生活の中でも、納税は国民の義務であるということの基本に置き、市民に対し、税金逃れが無いように、しっかりと法に基づいて公平に収税を進めていただきたいとの意見がありました。

(2) 生活環境の整備推進について

ごみの回収方法が、軒先収集やごみステーションまで持っていくなど地域によって違うという問題がある。今現在、高齢者で、ごみ出しが困難な方が実際にいるの

で、早期に対応していただきたいとの意見がありました。

紙類の回収の際に、ごみ収集場所に屋根がなく、天気によって左右される。次の回収日まで置いておくとかかなりの量になり、特に高齢者の家庭の場合、今後課題になってくるのではないかと。回収の頻度を増やすなど検討していただきたいとの意見がありました。

(3) 福祉対策について

市の方針として、保育士の確保を掲げている。保育士が、働きやすい環境づくりが必要であり、そのために、保育士にとってのやりがいや何かあったときにサポートしてくれる体制をしっかりと作っていただきたいとの意見がありました。

ヤングケアラーの対応について、現在、学校現場や教育委員会と連携をとって進めてくれている。このことについて、いろいろと絡み合った複雑な問題が出てくると思うので、窓口を一本化するなど、今後も責任を持って対応をするという態度は継続していただきたいとの意見がありました。

(4) 医療体制と健康づくりの推進について

人間ドック助成事業について、町ぐるみ健診を受診された方は助成できないが、来年度の選択肢として、市民の疾病の早期発見や早期治療のため、町ぐるみ健診の場でも、もっとPRしていただきたいとの意見がありました。

新型コロナワクチン接種について、4回目接種から個別接種のみとなっているが、高齢者の中には、地域によって近隣に病院が少ない、なかなかタクシーでは行きにくいといった意見がある。集団接種も必要ではないか、今後の状況を見て、判断していただきたいとの意見がありました。

(5) 商工業及び観光の振興について

全国的に企業の事業継承について問題となっている。当市でも例外ではなく、市としても経済を支える大事な基盤であるため、継承問題にも取り組んでほしいとの意見がありました。

プレミアム付商品券Wチャンスについて、抽選会が開催されるとのことだが、地域の活性化やコロナ終息を願って、にぎやかにやってもらいたいとの意見がありました。

各海水浴場について、警備員や看護員を配置しているとのことだが、過去に溺れて亡くなってしまった事例もある。今後、事故が起こる前に、ライフセーバーの資格を持った方を配置していただき、安心・安全なまちづくりの一つとして、前向きな検討をしていただきたいとの意見がありました。

大型小売店舗消費喚起事業について、店舗によってやり方が違うということだが、大型小売店舗が参加しやすいように、また、市民が利用しやすいように、十分に配慮してやってもらいたいとの意見がありました。

(6) 農業振興の推進について

農業振興地域の見直しについて、すでにホームページや広報で掲載されているが、定住促進や土地を将来有効利用してもらうために、相談がある地域や見直しの可能性がある地域へ出向いて説明会を行うなど、市民に十分に知ってもらえるよう周知してほしいとの意見がありました。

ため池の改修について、継続的にできるように、国や県に引き続き予算の要望を出していただきたいとの意見がありました。

国産飼料生産利用拡大推進事業について、濃厚飼料は、粗飼料に比べて市内ではほとんど生産されておらず、ウクライナ危機などの影響で飼料価格が高騰していることもあるので、市内で生産して、市内で活用できる資源循環の構築を研究、推進していただきたいとの意見がありました。

(7) 都市整備事業の推進について

道路側へ草木が生い茂っている場所については、車の通行に支障を来すことがある。例えば、交通安全の対策として6月、10月に定期的に剪定するなど計画的な整備の仕組みづくりを考えていただきたいとの意見がありました。

今後の公園計画について、子どもたちの遊び場として、小学校などの開放や新しく公園を整備してくれているところもあるが、子ども議会で要望があったように、アスレチック設備がある公園や公園が少ない地域に新設するなど、子どもたちの声を受け止め、検討してほしいとの意見がありました。

決算審査特別委員（案）

第 113 回 定 例 会

2	番	蔭	山	順	子
3	番	熊	田	司	
4	番	阿	部	守	
5	番	長	船	吉	博
6	番	太	田	康	文
7	番	大	江	幸	司
8	番	久	米	啓	右
9	番	吉	田	良	子
10	番	蛭	子	智	彦
11	番	廣	内	孝	次
12	番	北	条	志	津 子
13	番	中	村	三	千 雄
14	番	原	口	育	大
15	番	長	江	和	代
16	番	木	場	徹	
17	番	土	井	巧	